

JREU TOKYO

業務部速報



2023.10.31 No.016

発行: J R 東労組東京地本 業務部

「首都圏本部の現業機関における柔軟な働き方のさらなる推進について」提案を受ける(その②)

提案時の主なやり取り

◆ 新宿統括センターについて

組合: **なぜ統括センターにするのか。**

会社: 現状は乗務員・営業統括センター・MO にて双方の仕事をする場合に「兼務発令」のプロセスがある。**組織の敷居を無くしていきたい。**

組合: **なぜ新宿なのか。**

会社: 各機関が融合と連携に取り組んでくれている。その中でも新宿は(融合と連携が)うまくいっている印象。統括センターにすることがさらに効果的だと考えた。

組合: 新宿はエリアで見ても**要員が足りていない**と聞いているが。

会社: **必要な出面は確保できている。統括センター化に向けて他箇所比べて多く要員を増やすことは考えていない。**

組合: どのような働き方をイメージしているのか? 乗務員が駅業務を担うのか。

会社: (乗務員の駅業務について)発足してすぐというわけではないが**将来的にはそうなる**。新宿運輸区からの兼務者もいる。八王子支社のように**優等列車の車内改札を駅社員がやる**ことも想定している。

組合: **統括センターにすることを目的とするのは施策の趣旨からずれている。エリアの特性をみて、現状の営業統括センターと乗務員区という形の方が望ましいと判断することもあると考えるがどうか?**

会社: **統括センターにすることを目的とはしない。**エリアの特性をみて、社員が活躍できるフィールドが最も広がる形を検討した先の結果として統括センターがある。

◆ 全体について

組合: 「安全」という言葉が提案資料にないが意図があるのか。

会社: 「安全」がトッププライオリティという考えは変わらない。

組合: 実施が3月となっている。間に合うのか。

会社: **実施予定である3月に統括センターとしての完成形になっているとは思っていない。**田端統括センター発足時のように、**ワーキンググループにて、教育体制やユニット体制、実行計画などの整備を行い、統括センターとして機能する下地を作って発足を迎えたい。**

組合: この間何度も同じ主張をしてきたが、現場には**丁寧な説明を強く要請する。仕事も組織も変わる。現場にとって、大きすぎるほどの変化だ。社員一人ひとりの疑問に答えられるようにして欲しい。Joi-tab で資料を配布して終わりにしないで欲しい。現場の管理者が施策をよく理解し、それを説明できるように首都圏本部と現場管理者との意思疎通にも気を使って頂きたい。**

会社: 社員が不安を感じないように、**丁寧な説明を行うことは重要と考えている。主張は受けとめる。**